



瀬小っ子だよりでは、子どもたちのよりよい成長を願って、教育や子育てに役立つ情報を発信していきます。「子どもの成長」に向けて、学校と家庭がそれぞれの役割を発揮し、連携・協力することで、日々の教育活動の活性化に繋がっていきと考えています。興味・関心のある情報を発信していきますので、ぜひご一読下さい。

どうして勉強するの？

親から子どもに伝えてほしい「勉強する意味」

お子さんから「なんで勉強しないといけないの？」と聞かれたら、親として、なんと答えますか。子どもの素朴で本質をついた質問に対して、的確に答えることは、難しいものです。勉強する意味は、たくさんあります。子どもが納得する「勉強する意味」を伝えることができれば、やる気の支えになり、前向きに勉強に取り組むことができるようになると思いますので、ぜひ考えておくことをおすすめします。

それでは、勉強する意味の一例を紹介するので、ぜひ参考にしてみてください。

①「将来への選択肢を増やすため。(能力を高めるため)」

子どもたちは、欲しいものを買ってもらったり、食事も準備してもらったりと周りの大人たちに守られて生活しています。しかし、将来的には、自分でお金を稼ぎ、経済的にも社会的にも自立していかなければなりません。(18歳で成人) 社会に出た時に、一般常識や教養、コミュニケーション能力などを身に付け、行動の範囲を広げていくためには、子どもの頃から少しずつ身に付けておく必要があります。

②「人生を楽しむため。(視野や価値観を広げるため)」

勉強をすることで、これまで知らなかったことに気付き、見方や考え方がより一層広がっていきます。スポーツを楽しむ時にも、作戦を考えて相手に意思疎通をする表現力や、次の展開を予測したりする思考力は、不可欠となります。勉強をすることで、趣味や遊びの幅も広がり、人生をより楽しめるようになってきます。

③「困難に立ち向かう力や忍耐力をつけるため。」

勉強をしていると、楽しいことばかりではありません。新しい知識を身に付けたり、知らないことを理解したりする時に、壁にぶつかり、つらいとすることが出てきます。時には、やりたいことや好きなことを我慢して人一倍努力する経験も出てきます。しかし、つらい状況で努力をすれば、必ず、困難に立ち向かう力や耐える力、集中力が身に付きます。これから先の人生で困難な状況に遭遇しても、乗り越えてきた経験が自信となり、役に立つ機会がやってきます。

(参考：ベネッセ教育総合研究所「勉強する意味、答えられますか？親から子どもに伝えたいことと伝えるときの注意点」<https://benesse.jp/kyouiku/202108/20210817-1.html>)

社会で必要な資質・能力を付ける

現在の学校教育では、社会の変化や要請、地域の実情や保護者の願いなどから教育目標や内容のカリキュラム（時間割）を作り、創意工夫をしながら、様々な教育活動を展開しています。文部科学省の示す学習指導要領に基づき、学校では、様々な活動や指導を行っています。学習指導要領には、「小学校の〇年生は、この漢字を身に付けること」や「このレベルの計算ができること」などの内容が各教科それぞれに明記されています。

したがって、学校では、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、子どもの年齢に応じて、求められている知識や技能の習得や思考・判断・表現力を高めることを目指し、日々努力を重ねています。社会的な自立に向けて、学校教育の出口と社会の入口を意識して、教育活動を展開しています。

「子どもの成長」にむけて家庭と学校で連携

家庭と学校が同じ方向性で子どもたちと関わっていければ、子どもたちの成長が加速していきます。一方、家庭と学校が対立して指導や子育てを行ってしまうと、子どもに混乱が生まれ、成長速度は鈍くなってしまいます。家庭や学校がそれぞれの立場で、「子どもたちの成長」という共通の目標に向かって、考えや思いをすり合わせながら、力を合わせて取り組んでいくことが大切です。

家庭で実践（学習編）

学習意欲を高めるための 行動4カ条

（行動1）学ぶ意味や価値、楽しさを伝えよう。

（学ぶことのメリットや楽しさに気付かせることで、進んで取り組みます。）

（行動2）子ども自身に決めさせよう。

（子どもが決めることで責任をもつこととなります。途中で諦めずにやりきることで、子どもができることが増え、成長します。）

（行動3）ポジティブな情報を伝えたり、認めたり、励ましたりしよう。

不満や悪口などのマイナスな情報は、子どもの前では出さない。

（親から子どもに向けた発言の影響は非常に大きいです。他人に対する不満や悪口などのネガティブな情報を避けましょう。士気や意欲を低下させていきます。）

（行動4）子どもに目標や憧れをもたせよう。

「勉強なんてできなくてもよい」は、NGワード。

（目標をもたせたり、要求したりすることは、子どもたちの成長を促す上で大切です。お子さんが将来の夢をもつためには、目標がもてるような体験をさせたり、憧れとなる姿を見せたりすることが大切です。）